



図書『みちのくの鉄』



ちょうど20年前、石巻へ出張した営業の彼、仕事も順調に済みほっと一息、夕刻に鹽竈神社を参拝しました。博物館を見学している時、たまたま尾崎権祐宜（ごんねぎ）

鉄のふしぎ？博物館

■43

「鹽竈神社（しおがまじんじや）」

すが、現物を手にするのは初めての餅鉄です。ずつしりと重い赤みがかったべえ鉄は長さ、幅、高さが72mm×62mm×48mmで



比重を図る

に出会い少し雑談したと言います。鉄に詳しい尾崎様と鉄や鬼の話で話が弾み、ビールやおつまみまで出てきたそうです。お土産にもらった3ヶの餅鉄（べえてつ）を持参し、楽しい出張報告でした。私は本では読み、写真は見たことがあります。

京都、北野の天神さんのすぐ北側、平野神社で宮鉄一つを手にとって「お



餅鉄④が鹽竈神社で頂いたもの（上記画像の④）
尾崎様が鉄に詳しいのは当然で1994年に発行された『みちのくの鉄』の共著者、編集者の一人でもあります。文献から迎られた仙台藩の製鉄史を担当されています。名刺の肩書きに権祐宜（ごんねぎ）

の他、鹽竈神社博物館主事学芸員とも記されています。現在、尾崎様は京都市、北野の天神さんのすぐ北側、平野神社で宮鉄一つを手にとって「お

衣川製鎖工業・衣川良介社長

画像はカラーと交換しています。

1ヶを除いて比重は4・87〜4・75と平均していますが、本には磁鉄鉱の比重5・2と書かれて

つちゃんこの石が一番重いや！」小学生が言いました。何度も持ち替えて何かを調べている様子でしたが、どうやら比重を比べていたようです。そうかこれが一番重かったの！小学生に指摘されて、比重を測ることにしました。比較的正確な5kgが測れる吊りばかりを購入し、適当な測りやすい餅鉄を用意し、プラスチックの容器に水を入れ、空中重量と水中重量の差から比重を測定することにしました。最初に1000gの鉄のサンプルを測ったところ比重は7・69と計算されたので、大きく誤差はないと思います。ただ、餅鉄の表面に気泡がつくので、その分と細いヒモは誤差を生んでいます。

司を務めておられます。平野神社の御神木、大楠の下には磁石が吸い付く不思議な石があり、「すえひろがね」と命名され、若い人たちの人気パワースポットになってい

いましたが、そんな数値は出ませんでした。子どもが一番重いやと言った餅鉄は番号②、二番目に重かったのですが一番との差はごくわずか、彼は比重が判ったのでしよう。

番号	Wa 空中重量 g	Ww 水中重量 g	Wa-Ww 体積 CC=mm	Wa/体積 比重	品目	比重順番
1	58	46	12	4.83	磁鉄鉱 結晶	3
2	360	286	74	4.86	餅鉄 釜石	2
3	755	600	155	4.87	餅鉄 大槌	1
4	461	364	97	4.75	餅鉄 釜石	4
5	321	232	89	3.61	餅鉄 新潟	5